

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月12日

【四半期会計期間】 第116期第2四半期(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

【会社名】 株式会社東京會館

【英訳名】 Tokyo kaikan Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 藤原 幸弘

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内三丁目2番1号

【電話番号】 03-3215-2111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 鈴木 輝伯

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内三丁目2番1号

【電話番号】 03-3215-2111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 鈴木 輝伯

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第115期 第2四半期 連結累計期間	第116期 第2四半期 連結累計期間	第115期 第2四半期 連結会計期間	第116期 第2四半期 連結会計期間	第115期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	4,917,314	4,735,277	2,135,150	1,979,046	10,768,590
経常利益又は 経常損失() (千円)	136,509	279,957	341,843	443,091	246,400
四半期純損失() 又は当期純利益 (千円)	166,265	189,931	263,466	285,354	93,030
純資産額 (千円)			8,346,425	7,683,021	7,910,200
総資産額 (千円)			13,711,337	13,030,811	13,303,227
1株当たり純資産額 (円)			244.50	229.66	236.42
1株当たり 四半期純損失金額() 又は当期純利益金額 (円)	4.87	5.68	7.72	8.53	2.75
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)			60.87	58.96	59.46
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	9,382	101,266			609,154
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,066,513	169,612			978,385
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	91,954	84,623			336,636
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			249,282	336,998	692,501
従業員数 (名)			589	575	584

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第115期第2四半期連結累計期間、第116期第2四半期連結累計期間、第115期第2四半期連結会計期間および第116期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第115期については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 従業員数は、就業人員数を表示しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容に、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	575 (280)
---------	-----------

- (注) 1 従業員数は、就業人員数であります。
2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	547 (246)
---------	-----------

- (注) 1 従業員数は、当社から子会社への出向者を除いた就業人員数であります。
2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 仕入実績

当第2四半期連結会計期間における仕入実績は、次のとおりであります。

	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
料理飲料材料	353,874	8.9
食品製造材料	23,476	2.4
合 計	377,351	8.6

- (注) 1 当社グループの提供する食品及びサービスは、各事業部門間に複雑に関連し、事業単位で生産実績を記載することができないので、基礎的な材料の仕入額を記載しております。
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における受注実績は、次のとおりであります。

	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
宴会	1,237,232	12.6	2,713,483	8.7
(一般宴会)	(910,316)	12.3	(1,982,476)	6.6
(婚礼)	(325,087)	12.0	(715,027)	15.0
(展示会)	(1,829)	199.1	(15,980)	15.3
売店他	208,529	11.2	32,151	12.1
合 計	1,445,761	8.4	2,745,634	8.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績は次のとおりであります。

	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
宴会	1,063,991	1.7
食堂	707,880	17.4
売店他	207,175	10.8
合 計	1,979,046	7.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期のわが国経済は、経済対策の効果などにより最悪期を脱し、景気はようやく下げ止まりの兆しがみえてきたとの見方もありますが、依然として雇用・所得環境が悪化するなか、個人消費が冷え込むなど、経営環境は一段と厳しい状況となりました。

このような経済情勢のもとで、当社グループの第2四半期連結会計期間の業績は、企業業績悪化による法人需要の低迷、個人消費マインドの冷え込み、加えて新型インフルエンザによる影響や、本年3月末および4月末に経団連ゲストハウスと品川営業所をそれぞれ閉鎖したことなどにより、売上げが落ち込みました。

宴会部門につきましては、一般宴会は、企業業績悪化による企業・団体などの大口宴会の受注が減少し、さらに新型インフルエンザの影響によるキャンセルが相次ぐなど苦戦を強いられました。婚礼につきましては、当社ならではの強みや特色を活かした高級感のあるブライダルフェアを数多く開催し、受注確保に取り組んだ結果、本館をはじめ浜松町東京會館など各営業所とも堅調に推移しました。

食堂部門につきましても、前述の営業所閉鎖の影響や企業の接待利用の低迷、個人消費マインドの冷え込みに加え、新型インフルエンザによる影響などにより、売上げは落ち込みました。

その結果、当グループの連結売上高は1,979百万円（前年同四半期比7.3%減）となり、経費面におきましては、引き続き徹底した原価管理と全社的な諸経費の削減、業務全般の効率化を推し進め、収益向上に全力を傾注いたしましたが、本年3月末の株式相場的大幅下落などによる退職給付費用の増加や例年どおり、夏場の不需要期を含む季節的要因もあり、連結営業損失は447百万円、連結経常損失は443百万円、連結四半期純損失は285百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度末比272百万円（2.0%）減少して、13,030百万円となりました。流動資産は同419百万円（17.0%）減少の2,053百万円、固定資産は同146百万円（1.4%）増加の10,977百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金、売掛金が減少したことなどによります。

固定資産のうち有形固定資産は、83百万円増加の7,866百万円となり、その主な要因は、本館客用エレベーターの改修などで328百万円増加し、減価償却実施額や資産の除却で減少したことなどによります。

投資その他の資産は、62百万円増加の3,104百万円となり、その主な要因は、前連結会計年度末からの株価の回復を受けて保有有価証券の評価益が回復し、投資有価証券が増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比45百万円（0.8%）減少して5,347百万円となりました。流動負債は同39百万円（2.3%）減少の1,687百万円、固定負債は同5百万円（0.1%）減少の3,660百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、未払金が増加したものの、買掛金、賞与引当金などがそれぞれ減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末比227百万円（2.9%）減少して7,683百万円となりました。
主な要因は、配当の支払いを行い、四半期純損失を計上したことなどによります。

（3）キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、第1四半期連結会計期間末に比べ346百万円減少し、336百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は321百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。
これは主に税金等調整前四半期純損失466百万円に減価償却費117百万円の非資金取引による増加、売上債権の減少額293百万円やその他の流動負債の減少額302百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は14百万円（前年同四半期比97.0%減）となりました。
これは主に定期預金の払戻による収入230百万円や定期預金の預入による支出180百万円、保険積立金の積立による支出81百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は9百万円（前年同四半期比37.3%減）となりました。
これは主に配当金の支払額8百万円等によるものであります。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更ならびに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	89,000,000
計	89,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	34,639,434	34,639,434	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	34,639,434	34,639,434		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年9月30日		34,639,434		3,700,011		925,002

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
タイヨー パール ファンド エル ピー (常任代理人 シティバンク銀行 株式会社)	C/O WALKERS SPV LIMITED,WALKER HOUSE, 87MARY ST. GEORGE TOWN, GRAND CAYMAN KY1-9002, CAYMAN ISLANDS (東京都品川区東品川 2 - 3 - 14)	4,134	11.93
サントリーホールディングス株 式会社	大阪府大阪市北区堂島浜 2 - 1 - 40	3,131	9.04
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内 1 - 6 - 6 日本生命証券管理部内	1,916	5.53
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 - 7 - 1	1,655	4.78
株式会社みずほコーポレート銀 行	東京都千代田区丸の内 1 - 3 - 3	1,503	4.34
三菱地所株式会社	東京都千代田区大手町 1 - 6 - 1	1,311	3.79
三信株式会社	東京都新宿区西新宿 1 - 6 - 1	1,295	3.74
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内 2 - 1 - 1	1,054	3.04
富国生命保険相互会社	東京都千代田区内幸町 2 - 2 - 2	1,008	2.91
阪急阪神ホールディングス株式 会社	大阪府大阪市北区芝田 1 - 16 - 1	1,001	2.89
計		18,011	52.00

(注) 当社は、自己株式1,185千株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,185,000		株主として権利内容に制限のない、 標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 33,145,000	33,145	同上
単元未満株式	普通株式 309,434		同上
発行済株式総数	34,639,434		
総株主の議決権		33,145	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式160株が含まれております。

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式 会社東京會館	東京都千代田区丸の内 3-2-1	1,185,000		1,185,000	3.42
計		1,185,000		1,185,000	3.42

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	359	353	350	378	418	395
最低(円)	331	315	308	342	360	363

(注) 株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状態】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、本四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、きさらぎ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	616,998	1,022,501
売掛金	447,948	613,750
有価証券	419,877	409,648
商品及び製品	68,927	67,572
仕掛品	7,795	6,364
原材料及び貯蔵品	83,005	80,796
繰延税金資産	278,787	138,631
その他	135,864	136,737
貸倒引当金	5,876	3,396
流動資産合計	2,053,329	2,472,605
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,152,825	4,071,335
機械装置及び運搬具(純額)	159,394	156,900
工具、器具及び備品(純額)	471,096	471,117
土地	3,083,082	3,083,082
有形固定資産合計	7,866,399	7,782,436
無形固定資産		
電話加入権	6,790	6,790
無形固定資産合計	6,790	6,790
投資その他の資産		
投資有価証券	920,975	856,660
繰延税金資産	1,326,922	1,370,693
その他	865,206	818,198
貸倒引当金	8,853	4,240
投資その他の資産合計	3,104,250	3,041,313
固定資産合計	10,977,440	10,830,539
繰延資産		
開発費	41	82
繰延資産合計	41	82
資産合計	13,030,811	13,303,227

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	195,823	232,265
短期借入金	370,000	370,000
未払金	624,523	471,018
未払法人税等	21,576	27,272
賞与引当金	112,280	160,960
店舗閉鎖損失引当金	26,696	31,000
その他	336,188	434,313
流動負債合計	1,687,087	1,726,829
固定負債		
退職給付引当金	3,127,792	3,123,288
その他	532,910	542,910
固定負債合計	3,660,702	3,666,198
負債合計	5,347,789	5,393,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	3,654,271	3,654,271
利益剰余金	806,458	1,080,035
自己株式	444,471	443,173
株主資本合計	7,716,269	7,991,144
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,248	80,943
評価・換算差額等合計	33,248	80,943
純資産合計	7,683,021	7,910,200
負債純資産合計	13,030,811	13,303,227

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,917,314	4,735,277
売上原価	4,541,045	4,416,366
売上総利益	376,269	318,911
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	237,827	300,722
賞与引当金繰入額	15,418	10,880
役員退職慰労引当金繰入額	3,989	-
貸倒引当金繰入額	-	7,000
その他	304,286	297,110
販売費及び一般管理費合計	561,522	615,713
営業損失()	185,252	296,801
営業外収益		
受取利息	3,671	1,346
受取配当金	12,770	10,889
生命保険配当金	27,203	4,353
その他	11,430	5,180
営業外収益合計	55,076	21,769
営業外費用		
支払利息	3,497	2,877
開発費償却	1,316	41
コミットメントフィー	1,375	1,375
その他	143	631
営業外費用合計	6,333	4,924
経常損失()	136,509	279,957
特別利益		
受取補償金	120,000	-
特別利益合計	120,000	-
特別損失		
固定資産除却損	¹ 130,024	¹ 14,100
固定資産処分損	15,925	10,620
減損損失	15,651	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	² 47,000	-
役員退職慰労金	28,321	-
特別損失合計	236,922	24,721
税金等調整前四半期純損失()	253,431	304,679
法人税、住民税及び事業税	7,397	6,186
法人税等調整額	94,563	120,934
法人税等合計	87,166	114,747
四半期純損失()	166,265	189,931

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,135,150	1,979,046
売上原価	2,197,931	2,120,401
売上総損失()	62,780	141,355
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	123,887	146,121
賞与引当金繰入額	6,508	4,070
貸倒引当金繰入額	-	6,088
その他	152,476	149,746
販売費及び一般管理費合計	282,871	306,025
営業損失()	345,652	447,381
営業外収益		
受取利息	2,265	639
生命保険配当金	1,345	2,799
その他	3,372	3,072
営業外収益合計	6,983	6,510
営業外費用		
支払利息	1,757	1,440
開発費償却	658	20
コミットメントフィー	687	687
その他	71	72
営業外費用合計	3,174	2,220
経常損失()	341,843	443,091
特別損失		
固定資産除却損	¹ 17,690	¹ 13,014
固定資産処分損	6,881	10,620
減損損失	15,651	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	² 47,000	-
特別損失合計	87,223	23,635
税金等調整前四半期純損失()	429,067	466,726
法人税、住民税及び事業税	73,921	27,171
法人税等調整額	91,679	154,199
法人税等合計	165,600	181,371
四半期純損失()	263,466	285,354

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	253,431	304,679
減価償却費	221,099	230,922
減損損失	15,651	-
繰延資産償却額	1,316	41
退職給付引当金の増減額(は減少)	53,517	4,504
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	191,959	-
賞与引当金の増減額(は減少)	23,990	48,680
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	47,000	4,303
貸倒引当金の増減額(は減少)	497	7,093
長期未払金の増減額(は減少)	193,910	-
受取利息及び受取配当金	16,442	12,235
支払利息	3,497	2,877
支払手数料	1,375	1,375
有形固定資産除却損	130,024	14,100
その他の特別損益(は益)	120,000	-
売上債権の増減額(は増加)	228,314	165,801
たな卸資産の増減額(は増加)	12,685	5,238
その他の流動資産の増減額(は増加)	28,230	2,366
仕入債務の増減額(は減少)	60,332	36,441
その他の流動負債の増減額(は減少)	476,428	106,902
その他	354,721	10,000
小計	40,604	104,131
利息及び配当金の受取額	16,078	12,285
利息の支払額	3,492	2,862
その他の収入	120,000	-
法人税等の支払額	82,598	6,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,382	101,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	430,000	180,000
定期預金の払戻による収入	-	230,000
有価証券の取得による支出	698,131	199,839
有価証券の償還による収入	-	199,916
投資有価証券の取得による支出	29,516	2,054
有形固定資産の取得による支出	72,140	170,483
貸付けによる支出	5,200	5,402
貸付金の回収による収入	5,716	6,646
敷金及び保証金の回収による収入	120,788	-
保険積立金の積立による支出	48,367	82,030
保険積立金の払戻による収入	90,338	33,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,066,513	169,612

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	6,931	1,297
配当金の支払額	85,022	83,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	91,954	84,623
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,149,085	355,502
現金及び現金同等物の期首残高	1,398,368	692,501
現金及び現金同等物の四半期末残高	249,282	336,998

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
一般債権の貸倒見積高の算定方法 当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 7,943,134千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 7,672,465千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)																				
1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">種類</td> <td style="text-align: right;">金額</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">117,208千円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">3,965千円</td> </tr> <tr> <td><u>工具、器具及び備品</u></td> <td style="text-align: right;"><u>8,850千円</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">130,024千円</td> </tr> </table>	種類	金額	建物	117,208千円	機械装置及び運搬具	3,965千円	<u>工具、器具及び備品</u>	<u>8,850千円</u>	計	130,024千円	1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">種類</td> <td style="text-align: right;">金額</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">11,598千円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">851千円</td> </tr> <tr> <td><u>工具、器具及び備品</u></td> <td style="text-align: right;"><u>1,651千円</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">14,100千円</td> </tr> </table>	種類	金額	建物	11,598千円	機械装置及び運搬具	851千円	<u>工具、器具及び備品</u>	<u>1,651千円</u>	計	14,100千円
種類	金額																				
建物	117,208千円																				
機械装置及び運搬具	3,965千円																				
<u>工具、器具及び備品</u>	<u>8,850千円</u>																				
計	130,024千円																				
種類	金額																				
建物	11,598千円																				
機械装置及び運搬具	851千円																				
<u>工具、器具及び備品</u>	<u>1,651千円</u>																				
計	14,100千円																				
2 平成21年4月に品川営業所を閉鎖する為の、店舗閉鎖損失引当金繰入額であります。	2																				

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。	1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。
種類 金額	種類 金額
建物 17,345千円	建物 10,950千円
機械装置及び運搬具 318千円	機械装置及び運搬具 672千円
工具、器具及び備品 26千円	工具、器具及び備品 1,391千円
計 17,690千円	計 13,014千円
2 平成21年4月に品川営業所を閉鎖する為の、店舗閉鎖損失引当金繰入額であります。	2

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 679,282千円	現金及び預金勘定 616,998千円
預入期間が3か月超の定期預金 430,000 "	預入期間が3か月超の定期預金 280,000 "
現金及び現金同等物 249,282千円	現金及び現金同等物 336,998千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	34,639,434

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	1,185,160

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当金の原資
平成21年6月25日 定時株主総会	普通株式	83,644	2.5	平成21年3月31日	平成21年6月26日	利益剰余金

- (2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

当社グループは、レストラン・宴会事業及びこれらに関連した業務を行う単一セグメントであり、事業の種類別セグメントは記載を省略しました。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
229.66円	236.42円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,683,021	7,910,200
普通株式に係る純資産額(千円)	7,683,021	7,910,200
普通株式の発行済株式数(株)	34,639,434	34,639,434
普通株式の自己株式数(株)	1,185,160	1,181,443
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	33,454,274	33,457,991

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額() 4.87円	1株当たり四半期純損失金額() 5.68円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失() (千円)	166,265	189,931
普通株式に係る四半期純損失() (千円)	166,265	189,931
普通株主に帰属しない金額		
普通株式の期中平均株式数(株)	34,146,404	33,456,133

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額() 7.72円	1株当たり四半期純損失金額() 8.53円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失()(千円)	263,466	285,354
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	263,466	285,354
普通株主に帰属しない金額		
普通株式の期中平均株式数(株)	34,142,841	33,455,251

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月13日

株式会社東京會館
取締役会 御中

きさらぎ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤好生 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 後宏治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社東京會館の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社東京會館及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月6日

株式会社東京會館
取締役会 御中

きさらぎ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 星 野 紘 紀 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐 藤 好 生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社東京會館の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社東京會館及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。